



辻堂まちづくり会議

『声』から始まるまちづくり だより vol.16

巻頭
対談

大学生が語る辻堂の“いま”と“これから”

2026年(令和8年)
3月25日発行
発行
辻堂まちづくり会議
問合せ先
辻堂市民センター
TEL0466(34)8661

個人店が多くて、
開拓するのが楽しい

辻堂移住1年目



いろは
清水彩葉さん(19)

大学で社会貢献活動の授業をきっかけに、地域とのつながりを求めて学生レポーターとして参加

辻堂は、ほど良く
全部が揃ってる

辻堂ローカル



あかね
佐久間紅寧さん(19)

高校時代の課外活動をきっかけに地域活性に興味を持ち、まちづくり会議の委員へ応募



撮影 柴田喜代登

辻堂育ちの佐久間さんと、新潟から来た清水さん。学業の傍らまちづくり会議の活動を盛り上げてくれている大学1年生のふたりが、辻堂の魅力や課題、そして未来への思いを語り合いました。(聞き手/文 鶴田智博)

Qふたりにとって辻堂はどんなまち？

A「毎日晴れて明るいまち、冬でも自転車に乗れるなんて！」(清水さん)

新潟から進学で辻堂に来てまず驚いたのは、冬でも晴れの日が多いこと、と清水さん。「洗濯物を外に干せるのが新鮮でした」「人も親切でとても良い人ばかり」と話します。個人経営のカフェやケーキ店が多いので「開拓するのも楽しみ」。一方で「資源ごみを回収する場所が地元より少ないかも」と生活者としての課題も率直に挙げてくれました。

A「自然も買物も、ほどよく全部が揃っているまち。」(佐久間さん)

辻堂で育った佐久間さんは、自然と都会の利便性のバランスの良さを魅力に挙げます。「人が多過ぎず、ゆったりした雰囲気も好き」と語り、よく行くのはテラスモールや海辺の散歩道。反面、「運転免許を取りたてで、自転車の飛び出しが多く怖いと感じることがある」と交通面のマナーに課題も感じているそうです。

Qまちづくり会議の活動に参加してみたい

A「活動自体が知られていない。まず知ってもらうことが大事。」

若い世代の参加が少ない理由について、2人が共通して挙げたのは“認知不足”。佐久間さんは「高校生には地域活性に興味のある人が多いのに情報が届いていない」、清水さんも「市民センターでどんな活動があるか知られていない」と続け、ふたりも携わっている広報活動の大切さを指摘。さらに佐久間さんは「座学より、体を動かす体験型の方が参加しやすい」と提案。清水さんも「世代を超えて集まれる場があるといい」と話し、若者の共感を得やすい仕掛けのヒントをくれました。

Q10年後の辻堂への期待

A「海が綺麗であってほしい。今の良さが残るまちであってほしい。」

10年後について、佐久間さんは「海が綺麗であってほしい。電線がなくなって空が広く見えるまちになったら」と未来を描きます。清水さんは「今の自然や環境、人の良さが変わらず残っていてほしい」と語り、辻堂で暮らす年月に違いがあっても、ふたりの辻堂愛が伝わってきました。

Q読者へのメッセージをひとこと

A「まちの『声』を届ける側じゃなくて、動く側にも入ってきてほしい。」

佐久間さんは「辻堂に住んでいて良かったと思ってもらいたい一方で、気になる場所があればぜひ『声』を届けてほしい」と話します。その上で「『声』を届ける側だけでなく、受け止めて動いていく側にも、気になる人はぜひ参加してほしい」と呼びかけました。清水さんも「まずはFacebookや『まちづくり会議だより』で活動を知って、興味を持ったならイベントや会議も覗きにきてほしい」と締めくくってくれました。

ふたりの『声』から見えた辻堂の魅力と課題。中面では、こうした『声』をもとに生まれた地域の活動をご紹介します。



集まった『声』を、まちの行動につなげています



ひろって、つくて、海を守ろう！

「辻堂の海を守ろう！」企画第5弾では、《ビーチクリーンとSDGs ペンづくり》を行いました。海さくら代表の「古澤純一郎さん」を招き、家庭からのゴミが海を汚していることを学んだ後、全員で海に行きごみ拾いをして、MY・ハーバリーウムボールペンも作りました。湘洋中学校や湘南工科大学のご協力もあって素敵な交流の輪が生まれ、小中学校の自主的なビーチクリーン活動につながることもありました。

海岸に夏はゴミが多くなるので改善したい



今年度の交流

NPO 法人・海さくら、ふじキュン♡、辻堂にゆかりの文化人、湘南工科大学、青少年会館、地区内小中学校、自治会町内会、商店会など

『声』で動いたのは

辻堂交流部会

わが町辻堂の「みんな」が「集う」機会を企画し、社会のニーズにあった、地域内の自然や歴史・文化を再見聞していただける「場」を作っております。

1歩前進しました！—昭和通りを安全に！

辻堂地区の真ん中を通っている「昭和通り」について、道幅が狭いことなどから、車・自転車・歩行者が溢れている実態を踏まえ、「拡幅」などを求める意見書を藤沢市・神奈川県へ提出しました。その結果、県が今後10年の道路整備方針などを示す「**かながわのみちづくり計画**（2026年3月改定予定）」に、「昭和通り」が新たに位置づけられるなど、着実な進捗を図ることができました。



辻堂駅までの道に歩道が欲しいです

藤沢市に続き、神奈川県藤沢土木事務所にも意見書を提出しました

『声』で動いたのは

くらし安心・安全部会

安全で安心に暮らせるまちを目指し、防災や防犯、交通などの地域課題への対策や、都市問題の解決などを推進しています。

今年度のトピック

昭和通り拡幅の提言、子どもの見守り活動、災害時の避難路確保に向けた現地調査、地域公共交通の研究など

人と人がつながるまちづくりへ！

高齢者の居場所を「増やす」活動をしています。『辻堂朝市』に交流コーナーを設け、買い物に来た人同士の交流が生まれました。また、公園体操に参加した地域の皆さんと一緒にサービス付き高齢者向け住宅にお邪魔して、入居者の方と一緒にコーヒーを飲みながら交流を楽しみました。これからも地域の様々な場所でたくさんの方とつながり、皆さんが自然に集える居場所づくりに取り組んでいきます。

高齢者が集う場所が欲しい



「辻堂朝市」で広がる交流の輪



体操のあと、コーヒーを囲んでゆったり交流

『声』で動いたのは

福祉部会

ご近所同士で支え合う、誰も取り残さない地域づくりを目指し、「社会的孤立の防止」や「障がいへの理解促進」に焦点を当てた取り組みを行っています。

今年度の取組

障がいのある方も参加しやすい防災訓練（**まるっと辻堂**）、高齢者の居場所づくり事業（**ふらっと辻堂**）など

今年度もたくさんの『声』をいただきました

「集まれ！辻堂応援団！」全体集会

～地域のつながりづくり交流会～

開催日 2026年2月1日（日） 参加者数 97人

今回のテーマは「集まれ！辻堂応援団！」です。

まちづくり会議では日頃、ご協力いただいている諸団体様から地域とつながる活動を紹介いただき、その活動をさらに広げ、多世代がつながる交流の場を作りたいと考え、つながりづくりのグループディスカッションを行いました。

予想を大幅に上回る参加をいただき、事前に選ばれた8つの取り組みについて、A～Hの8班に分かれてその内容の紹介や大学生・高校生を含む一般参加者との活発な意見交換が行われました。人と人とのつながり、コミュニケーションの大切さについて地域の皆さんと共有でき、今後の活動に生かして行きます。

ご参加いただいた団体、地域の皆さん、ありがとうございます。



模造紙 16枚の「声」が集まりました—『教えて！辻堂』

11月8日、9日に行われた辻堂市民センターまつりでは『教えて！辻堂』と題して、大人から子どもまで、辻堂の好きなところ、好きでないところ、美味しいお店、よく遊ぶ場所など…「自分にとっての辻堂」を自由に付箋に書いて教えてもらいました。

付箋はまちの『声』として、辻堂まちづくり会議の3つの部会に振り分け、新たなまちの行動のヒントとさせていただきます。



赤ちゃんに優しい飲食店カフェ欲しい

人があたたかい人にやさしい

ほど良くイナカほど良くトカイなところが好き

子育てしやすい街♡

お年寄りの人と子育てママが集う場所がほしい

津波・地震・洪水対策をもっとしっかりお願いしたいです

ふじキュンがかわいい



辻堂の新名所

辻堂発！ふじキュン♡



市民センターに、辻堂プライドロゴとふじキュン♡が合体した「辻堂発！ふじキュン♡」のフотスポットが誕生しました。

メディアで紹介された まちの魅力を高める活動

地域密着の情報メディア様とも連携し「まちの声」から生まれた活動を広報することで、より多く皆さんに“まちづくり”への理解と共感を高めていただきました。

J:COM

タウンニュース

湘南える



『障がいの理解』～地区総合防災訓練
J:COM 2025年12月22日放映



<辻堂ストリートギャラリープロジェクト>
タウンニュース 2025年11月14日号



<辻堂プライド フォトスポット>
湘南える 2025年12月6日号

<辻堂の魅力発見>公式 Facebook で配信!

辻堂まちづくり会議 Facebook ページでは、まちづくり会議や地域団体が実施する様々なイベントのお知らせやレポートのほか、広報委員が見つけた“住人ならではの”まちの魅力をシリーズでご紹介。ぜひフォローして、いままで気が付かなかった新しい我がまちの魅力を発見してください!



「ふるさと」を手話で合唱

令和6年12月2日

初日の出を見るなら辻堂海岸!



令和6年12月22



健康体操
～からだと心が安らく、ゆるいつながり環境を持つまち。実施日・場所ごとにいくつもある・参加も自由～

令和7年1月14日

朝市からの贈りもの (海の幸のあら煮)



令和7年2月17日



パブリックアート散歩

令和7年10月28日

フォローはこちらから



辻堂プライド 辻堂まちづくり会議

会長あいさつ

貴方がお住いの“まち”に求める機能は何でしょうか。津波や犯罪に強い安心安全な“まち”でしょうか。支援の手が行き届く福祉の“まち”でしょうか。または生活を豊かにする交流の場がある“まち”でしょうか。辻堂まちづくり会議ではくらし安心・安全、福祉、辻堂交流の3部会でこれらの課題に取り組んでいます。辻堂の人々の思いを集め、個々の人々が、また地域の方で、さらに行政や組織に要望して、辻堂の“まち”づくりを目指しています。あなたの『声』をお聞かせください。

(辻堂まちづくり会議 会長 小川雄二郎)



辻堂まちづくり会議委員(敬称略)

任期：2024年4月1日～2026年3月31日

秋山 正行	公募委員	小川 雄二郎	公募委員	鷹野 三枝子	高浜地域子ども支援会議
鶴田 智博	公募委員	柴田 喜代登	辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会	高山 明子	辻堂地区社会体育振興協議会
堀川 輝夫	公募委員	山田 泰司	辻堂地区社会福祉協議会	中野 由紀子	辻堂商店会連合会
千葉 郁世	公募委員	吉田 秀樹	辻堂地区青少年育成協会	生駒 幸男	辻堂地区老人クラブ連合会
高木 浩一	公募委員	和田 今日子	辻堂地区交通安全対策協議会	松尾 良子	ネットワーク湘南堂夢
大沼 潤一	公募委員	吉田 紀行	辻堂地区生活環境協議会	黒川 康弘	辻堂東地区いきいきサポートセンター
関岡 壽夫	公募委員	山田 均	辻堂地区防犯協会	高野 拓弥	辻堂西地区いきいきサポートセンター
雲居 保明	公募委員	大川 和夫	辻堂地区防災協議会	村上 純子	藤沢市社会福祉協議会(辻堂地区CSW)
馬 在勇	公募委員	近藤 真由美	辻堂東地区民生委員児童委員協議会	山下 美波	西南部障がい者地域相談支援センター
田頭 悠子	公募委員	秋葉 誠	辻堂西地区民生委員児童委員協議会		
佐久間 紅寧	公募委員	伊藤 和子	辻堂市民センター評議員会		

くらし安心・安全部会 福祉部会 辻堂交流部会